

装飾・路店・打ち水・イベント、盛りだくさん!! 地蔵まつり開催される

—第44回目の協議会の概要—

第44回協議会が8月12日(水)に開催された。今回は地域の方々、神奈川県中小企業中央会の方々、スタジオ★へそちくの方々、横浜国大の教員・学生などを含め、21名の参加があった。今回の協議会では主に、地蔵まつり当日の打ち合わせ、国大生の現在進行中のプロジェクトの現状報告、スタジオ★へそちくの活動報告のほか、保土ヶ谷区役所から電動アシスト付自転車による脱温暖化モデル事業の企画案、次回和田町-地域とこどもプロジェクトの企画案の話があった。

—装飾・路店・打ち水・イベントに注目!!—

日が沈むにつれて、和田橋から商店街、国道16号を越えて真福寺までの道沿いに、思い思いの提灯に明かりが灯され、歩行者の目を楽しませてくれました。また、和田橋には和田地蔵まつりの25年間の歩みを紹介するパネルが設置されました。(↓)



打ち水大作戦では、和田町住民と横浜国大関係者が掛け声とともに一斉にひしゃくで水をまきました。打ち水の効果以上に、車の通らない広い道路を、水遊びしながらのびのびと走りまわる子どもたちが涼しげでした。参加者には、花の苗と温度計が配られました。(↓)



通りを歩くと、焼きそばやたこやき、フランクフルト、人形焼き…いろいろな食べ物の匂いが流れてきます。お店の人も声を張り上げて元気に売り込み！子供に混じっておもちゃのかぶり物をつけた大人や、シャボン玉を吹く少年達、みんなそれぞれお祭りムードを楽しんでいるようでした。(↗)



中央会場のイベントは、これだけ大きなステージを設営するのは1年でこの2日間だけです。出演者と観客の盛り上がりは会場から溢れ出して、商店街通りにまで広がりました。韓国語の歌やJ-POP、太鼓の響きなど、住民と学生、老若男女さまざまな人々が暮らす和田町ならではのイベントでした。

—防災を考える—

近頃、大きな地震やゲリラ豪雨など自然災害の脅威を感じる機会が多いですね。これを機会に、事前に各家庭で防災対策を考えてみてはいかがでしょうか。自分の街に潜む危険を事前に知っておくことで、災害時のリスクを減らすことができるかもしれません。まずは、自治体が作成した防災計画などを図書館やインターネットで閲覧してみましよう！また、10月4日(日)には、和田町-地域とこどもプロジェクトのワークショップで、防災マップを作成する予定です。自分の住む街の安全な場所や危険な場所を歩いて見つけることは大切ですよね(^_^)



←以前こどもプロジェクトで作成された防災マップ